

● 保健科学研究科 入学者選抜の基本方針

本研究科の養成する人材像およびアドミッション・ポリシーに合致した学生を選抜するため、出願書類、試験科目、評価基準について以下の通り定める。

1 一般選抜

出願書類及び筆記試験、口述試験、面接の結果を総合して合格者を決定する。

- 出願書類
入学願書、志望理由書
- 試験科目
筆記試験（英語）、口述試験、面接
- 評価基準

筆記試験では、各専門領域に関する英文を出題し読解させることにより、主に AP IIIで求める研究領域に対する知識や研究・探究に必要な知識・思考力について評価を行う。

口述試験では、大学等における卒業研究に関する発表及び質疑応答を行い、主に AP IIIで求める研究領域に対する知識や研究・探究に必要な知識・思考力について評価を行う。

面接では、志望動機や修了後の展望等についての質疑を通じて、主に AP Iで求める自身の役割を自覚し他者と協働する姿勢や、AP IIで求める社会貢献の意識、AP IIIで求める主体的に研究を進めていく意欲等を評価する。

2 社会人選抜

出願書類及び筆記試験、面接の結果を総合して合格者を決定する。

なお、社会人については実務経験に基づく知見や考え・信念等を重視することから、出願書類に「実務活動経歴書」を追加することとし、口述試験は実施しない。

- 出願書類
入学願書、志望理由書、実務活動経歴書
- 試験科目
筆記試験（英語）、面接
- 評価基準

筆記試験では、各専門領域に関する英文を出題し読解させることにより、主に AP IIIで求める研究領域に対する知識や研究・探究に必要な知識・思考力について評価を行う。

面接では、志望動機や修了後の展望等についての質疑を通じて、主に AP Iで求める自身の役割を自覚し他者と協働する姿勢や、AP IIで求める社会貢献の意識、AP IIIで求める主体的に研究を進めていく意欲等を評価する。また、実務活動経歴書の内容や、実務経験を通じて得た知見や考え・信念等を確認し、AP で求める人間性や知識についての評価を多角的な観点で行う。